

有斐閣 新刊案内

2022

3

六法全書 令和4年版
新注釈民法(8) 債権(1)《有斐閣コンメンタール》
憲法1 人権 第8版《有斐閣アルマ》
憲法2 統治 第8版《有斐閣アルマ》
憲法I 総論・統治 第3版《LEGAL QUEST》
憲法II 人権 第3版《LEGAL QUEST》
憲法の時間 第2版
はじめての行政法 第5版《有斐閣アルマ》
よくわかる税法入門 第16版《有斐閣選書》
民法(全) 第3版
民法概論1 民法総論 第2版
民法II 物権 第4版《LEGAL QUEST》
民法II 物権 第5版《有斐閣Sシリーズ》
新基本民法2 物権編 第3版
民法III 債権総論《LEGAL QUEST》
私法の現代化
民法VI 親族・相続 第6版《LEGAL QUEST》
民法 親族・相続 第7版《有斐閣アルマ》
基礎から学ぶ商法
会社法事例演習教材 第4版
保険法(下)
現代の裁判 第8版《有斐閣アルマ》
入門刑事法 第8版
公判外供述の証拠使用と証人審問権の役割
自白法則の理論的構造
労働法 第9版
特許法・著作権法 第3版
国際法 第2版《有斐閣ストゥディア》
国際私法 第3版《LEGAL QUEST》

葛藤する法廷《北海道大学大学院法学研究科叢書》
フランス夫婦財産法
国際条約集2022年版
続々・千曲川の岸辺
現代官僚制の解剖
ヨーロッパの政治経済・入門 新版《有斐閣ブックス》
基本統計学 第5版
Ideas and Economy in Japan《同志社大学経済学研究叢書10》
21世紀中小企業論 第4版《有斐閣アルマ》
現代ヨーロッパ経済 第6版《有斐閣アルマ》
事件から読みとく日本企業史
はじめて出会う会計学 第3版《有斐閣アルマ》
財務会計・入門 第15版《有斐閣アルマ》
問いからはじめる家族社会学 改訂版《有斐閣ストゥディア》
地域・都市の社会学《有斐閣ストゥディア》
はじめての社会保障 第19版《有斐閣アルマ》
入門 司法・犯罪心理学
新しい教育評価入門 増補版《有斐閣コンパクト》
はじめて出会う中国 改訂版《有斐閣アルマ》
公教育の危機と再構築《日本教育学会年報 第51号》
検証 エコノミック・スイトクラフト《国際政治第205号》
国際政治のなかの同盟《国際政治第206号》
ラテンアメリカ—内政と国際関係の再検証《国際政治第207号》
つなぐ法・きりはなす法《法社会学 第88号》
「法学部」が面白いほどよくわかる《法学教室4月号増刊》
書齋の窓3月号《第680号》
法学教室3月号《第498号》
ジュリスト3月号《第1568号》

表示価格は税込です。

予価・内容は変更になる場合があります。

since 1877



有斐閣

六法全書 令和4年版

さきひとし おおむらあつし
佐伯仁志・大村敦志 編集代表
中央大学教授・学習院大学教授

■収録法令 822件（参照条文付き法令48件） ■内容現在 令和4年1月1日
菊判上製箱入（2冊組） 6,584頁 ●13,970円(税込) 978-4-641-10482-2

◆購入者限定 六法全書電子版 無料閲覧サービス

- ・紙面そのままに、文字を拡大して読みやすく！
- ・法令名検索で参照したい法令に素早くアクセス！
- ・昭和32年版から今年版までの六法全書が閲覧できる！

*閲覧期間は2023年3月31日まで

※Windows, Mac, iPad対応

◆新収録 相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律、デジタル社会形成基本法など11件

◆重要改正 民法、不動産登記法、個人情報保護法など

《新収録》

相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律／デジタル社会形成基本法／プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律／検疫法／取引デジタルプラットフォームを利用する消費者の利益の保護に関する法律など11件

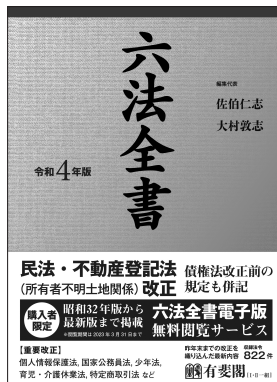
《主な改正》

民法、不動産登記法、個人情報保護法、国家公務員法、地球温暖化対策推進法、少年法、育児・介護休業法、特定商取引法、特許法、著作権法など

《主な特徴》

購入者限定「六法全書電子版 無料閲覧サービス」。
民法改正（債権法改正以降）に関連する旧規定を各条に注記した。
前年版から改正のあった条文の条名に傍線を付し、改正の有無をわかりやすくした。

《巻末付録》全国裁判所管轄区域表、各種手数料等一覧表



いそむら たもつ おおむらあつし どうがうちひろ と やまもとけいぞう
磯村 保 編 大村敦志・道垣内弘人・山本敬三 編集代表
早稲田大学教授 学習院大学教授・専修大学教授・京都大学教授

新注釈民法(8) 債権(1)

A5判上製箱入
860頁
予価10,120円(税込)
978-4-641-01768-9

判例・学説の現在の到達点を示す、本格的コンメンタール。本巻は、民法第3編債権／第1章総則「第1節 債権の目的」および「第2節 債権の効力」中の「第1款 債務不履行等の責任」を扱う。

《主な目次》

第3編 債権

前注……………潮見佳男

第1章 総則

第1節 債権の目的(399条～411条) ……北居 功

第2節 債権の効力

第1款 債務不履行の責任等

412条～413条の2 ……潮見佳男

414条 ……吉政知広

415条 ……小粥太郎

債務不履行の要件事実……………大野祐輔

416条～419条……………荻野奈緒

420条～422条……………難波讓治

422条の2 ……田中宏治



新注釈民法(全20巻)の構成内容(=近刊)

第1巻 総則(1) 通則・人・法人・物 〈発売中〉……………山野日章夫 編

第2巻 総則(2) 法律行為(1)……………山本敬三 編

第3巻 総則(3) 法律行為(2)・期間の計算・時効……………佐久間 毅 編

第4巻 物権(1) 物権総則……………松岡久和 編

第5巻 物権(2) 占有権・所有権・用益物権 〈発売中〉……………小粥太郎 編

第6巻 物権(3) 留置権・先取特権・質権・抵当権(1) 〈発売中〉……………道垣内弘人 編

第7巻 物権(4) 抵当権(2)・非典型担保 〈発売中〉……………山田誠一 編

第8巻 債権(1) 債権の目的・債権の効力(1) 〈第9回配本〉……………磯村 保 編

第9巻 債権(2) 債権の効力(2)・多数当事者の債権及び債務……………沖野眞巳 編

第10巻 債権(3) 債権の譲渡・債権の消滅 等……………山田誠一 編

第11巻 債権(4) 契約総則……………渡辺達徳 編

第12巻 債権(5) 贈与・売買・交換……………池田清治 編

第13巻 債権(6) 消費貸借・使用貸借・賃貸借・借地借家法……………森田宏樹 編

第14巻 債権(7) 雇用・請負・委任・寄託・組合・終身定期金・和解 〈発売中〉……………山本 豊 編

第15巻 債権(8) 事務管理・不当利得・不法行為(1) 〈発売中〉……………窪田充見 編

第16巻 * 債権(9) 不法行為(2)……………大塚 直 編

第17巻 親族(1) 親族総則・婚姻・親子(1) 〈発売中〉……………二宮周平 編

第18巻 親族(2) 親子(2)・親権・後見・保佐及び補助・扶養……………大村敦志 編

第19巻 相続(1) 相続総則・相続人・相続の効力・相続の承認及び放棄 等 〈発売中〉……………潮見佳男 編

第20巻 相続(2) 遺言・配偶者の居住の権利・遺留分・特別の寄与……………水野紀子 編

しぶたにひで き あかさかまさひろ
 渋谷秀樹・赤坂正浩 著
 立教大学名誉教授・法政大学教授

憲法 1 人権 第8版

四六判並製カバー付
 420頁
 予価2,310円(税込)
 978-4-641-22187-1

法律学の初学者にもよくわかる、ロングセラーのスタンダード・テキスト。個別の人権、なかでもイメージしやすい人身の自由から入り、人権の意義・通則を後で学ぶ特徴的な構成。抽象的な議論をスムーズに理解できる工夫が満載。コロナ含む最新の憲法問題を扱う改訂版。

〈主な目次〉

I 個別の人権

- 1 人身の自由 1 移動の自由／奴隷的拘束からの自由 2 法定手続の保障／刑事手続の保障 2 社会的・経済的権利 3 生存権 4 教育権 5 労働権 6 職業の自由 7 財産権 3 受益権 8 国家賠償・刑事補償請求権／裁判を受ける権利 4 精神的自由権 9 思想・良心の自由 10 表現の自由①意味・歴史・機能 11 表現の自由②知る自由と権利 12 表現の自由③報道機関の自由 13 表現の自由④表現内容規制・表現内容中立規制 14 信教の自由 15 学問の自由 16 集会・結社の自由／家族形成の自由 5 新しい人権 17 幸福追求権①性格と範囲 18 幸福追求権②新しい人権

II 人権の意義と通則

- 1 人権の意義 19 人権の意義 2 人権通則 20 人権の享有主体 21 人権の到達範囲 22 人権の制約原理 23 法の下での平等

しぶたにひで き あかさかまさひろ
 渋谷秀樹・赤坂正浩 著
 立教大学名誉教授・法政大学教授

憲法 2 統治 第8版

四六判並製カバー付
 448頁
 予価2,420円(税込)
 978-4-641-22188-8

初学者でも抽象的な議論につまづくことなく理解し、考える力がつくよう、工夫を凝らしたスタンダード・テキスト。立法・行政・司法という統治機構の仕組みをおさえてから、統治の基本原理へ進み、最後に憲法の意義と歴史を概観する。「生きた憲法」を学ぶ最新版。

〈主な目次〉

III 統治機構

- 1 立法と行政 24 国会と内閣 25 国会の権限 26 内閣の権限 27 国会と内閣の内部組織 2 司法 28 司法権の意義と限界 29 司法権の独立・組織・権能 30 違憲審査制 31 憲法訴訟 3 地方自治 32 地方自治の原理・組織 33 地方公共団体の権能

IV 統治の基本原則

- 1 立憲主義 34 法の支配 35 権力分立 2 民主主義 36 国民主権 37 有権者と国会 38 選挙制度と選挙権 39 天皇 3 平和主義 40 戦争の放棄

V 憲法の意義と歴史

- 1 憲法の意義 41 憲法の意味 42 憲法秩序の構造と変動 43 憲法の保障 2 憲法の歴史 44 日本憲法史

もうり とおる こいずみよしゆき あさのひろのぶ まつもとてつじ
毛利 透・小泉良幸・浅野博宣・松本哲治 著

京都大学教授・関西大学教授・神戸大学教授・同志社大学教授

憲法Ⅰ 総論・統治 第3版

A5判並製力バー付
432頁
予価3,080円(税込)
978-4-641-17950-9

憲法の総論および統治分野の基本と応用を的確に学べる信頼のテキスト。より深く理解できるように重要な論点や判例については詳しく解説。法学部生はもちろん、法科大学院生・受験生必携。第2版刊行後の法改正や判例、COVID-19等の新たな憲法問題を反映した改訂版。

《主な目次》

- 第1章 憲法総論
- 第2章 日本憲法史
- 第3章 国民主権と天皇制
- 第4章 平和主義
- 第5章 国会
- 第6章 内閣
- 第7章 裁判所と司法権
- 第8章 憲法訴訟
- 第9章 地方の政治制度

もうり とおる こいずみよしゆき あさのひろのぶ まつもとてつじ
毛利 透・小泉良幸・浅野博宣・松本哲治 著

京都大学教授・関西大学教授・神戸大学教授・同志社大学教授

憲法Ⅱ 人権 第3版

A5判並製力バー付
472頁
予価3,300円(税込)
978-4-641-17951-6

憲法の人権分野の基本と応用を的確に学べる信頼のテキスト。より深く理解できるように重要な論点や判例については詳しく解説。法学部生はもちろん、法科大学院生・受験生必携。第2版刊行後の法改正や判例、外国人の人権問題等の最新の動きを反映した改訂版。

《主な目次》

- 第1章 基本的人権総論
- 第2章 幸福追求権
- 第3章 平等
- 第4章 思想・良心の自由
- 第5章 信教の自由と政教分離
- 第6章 学問の自由
- 第7章 表現の自由
- 第8章 経済活動の自由
- 第9章 人身の自由
- 第10章 社会権
- 第11章 参政権
- 第12章 国務請求権

いのうえのりゆき

井上典之 編

神戸大学教授

憲法の時間 第2版

四六判並製力バー付

292頁

●2,090円(税込)

978-4-641-22831-3

一般教養的な知識として「憲法」を知ってもらうための入門書。「憲法は難しい」というイメージを払拭。COVID-19に代表される社会の新しい出来事や重要判例を取り入れ、さらにバージョン・アップさせた最新版。巻末に憲法の全条文を収録。論点が分かるタイトルを追加。

《主な目次》

- 第1編 憲法が保障する権利とは？*Ⅰ 人権保障の総論*Ⅰ 憲法の基本原理としての「基本的人権の尊重」/Ⅱ 「基本的人権」はどのようにして生まれた？/Ⅲ 「公共の福祉」という厄介な問題/Ⅳ 人権はだれのもの？/Ⅴ 会社にも人権？/Ⅵ 人権はだれにたいするもの？ Ⅱ 人権規定——包括的人権*Ⅶ 菊のパスポートがもつ意味とは？/Ⅷ 憲法のもっとも大切な考え方は？/Ⅸ 幸せになりたい！/Ⅹ 同じだから平等？ちがうから平等？/Ⅺ 家族にも差別がある！？/Ⅻ 憲法が保障する家族とは？
- 第2編 人権として保障されているもの*Ⅰ 人身の自由と手続的権利*Ⅱ 13 いまどきの奴隷や苦役を考える/Ⅲ ボクは有罪、キミは……無罪？/Ⅳ 死刑はやめた方がいい？ Ⅱ 人間の精神活動*Ⅲ 16 心の中は聖域ではない？/Ⅳ 宗教を信じる者は救われる？/Ⅴ お祭りに補助金を出すことは許されるか？/Ⅵ DVDのモザイク/Ⅶ コマーシャルも規制される？/Ⅷ インターネットはなんでもあり？/Ⅷ 22 ビラを配るのも注意が必要！/Ⅸ 23 甲子園での応援も規制されるか？/Ⅹ 24 学校を中心に、権利をさげろ/Ⅺ 25 勝手に大学の教室は使えない Ⅲ 経済生活と財産*Ⅳ 26 お金儲けをはじめるとどう？/Ⅴ 27 営業活動には規制がいっぱい/Ⅵ 28 土地やお金は大切です！/Ⅶ 29 あたり前の生活がしたい/Ⅷ 30 「ストライキ」って何？
- 第3編 民主権と政治のしくみ*Ⅰ 31 政治の最終的決定権をもつ国民/Ⅱ 32 代表者を選ぶための方法とルール/Ⅲ 33 数を頼みにする国会でいいのか？/Ⅳ 34 仕分けが決まる予算？/Ⅴ 35 リーダーとしての首相とその仲間たち/Ⅵ 36 都道府県や市を勝手になくすることは可能か？
- 第4編 権利や憲法をまもるしくみ*Ⅰ 37 裁判所のお仕事/Ⅱ 38 もめごとを解決する裁判のしくみ/Ⅲ 39 ボクも「憲法違反だ！」と言いたい/Ⅳ 40 ルールがおかしいのか？使いたいのか？
- 第5編 憲法とはどのような法？*Ⅰ 41 国を形作る法としての憲法/Ⅱ 42 憲法によって統治権はしばられる/Ⅲ 43 国の最高のきまり/Ⅳ 44 憲法を変えるとは？/Ⅴ 45 平和な社会に憲法が生きる



有斐閣アルマBasic

(3月下旬発売予定)

いしかわとしゆき

ふじわらしずお

おおぬきひろゆき

おおくほりこ

しもいやすし

石川敏行・藤原静雄・大貫裕之・大久保規子・下井康史 著

中央大学講師、前運輸安全委員会委員・中央大学教授・中央大学教授・大阪大学教授・千葉大学教授

はじめての行政法 第5版

四六判並製力バー付

300頁

予価1,980円(税込)

978-4-641-22194-9

「まさに『はじめて』にぴったりの本」「説明が整理されていて楽に、楽しく通読できる」と好評を博している初学者向けの行政法テキスト。新判例や法改正、社会状況の変化をフォローした第5版。巻末の「全体的見取り図」と「行政法(学)関係年表」も充実。

《主な目次》

- 序章 はじめに
- 第1章 行政は誰が行うか——行政主体・行政機関
- 第2章 行政法の基本的な考え方——行政作用の一般理論
- 第3章 行政はどのように行われるか——行政の行為形式
- Intermezzo I 手続と不服審査と訴訟
- 第4章 行政活動を実現する手段——行政の実効性確保
- 第5章 国民の権利利益の救済方法(1)——行政作用を是正する行政争訟制度
- Intermezzo II 1次試験, 2次試験
- 第6章 国民の権利利益の救済方法(2)——金銭によって償う国家補償制度
- 終章 おわりに
- 巻末 「全体的見取り図」「行政法(学)関係年表」

みきよしかず
三木義一 編著

青山学院大学前学長、弁護士

よくわかる税法入門 第16版

四六判並製力バー付
394頁
予価2,310円(税込)
978-4-641-28152-3

わかりやすい対話形式を軸に税法の世界が展開。はじめて税法を学ぶ読者にとって最適の入門書。税法総論から所得税・法人税・消費税・相続税など諸税法を網羅した。令和3年度税制改正や、最新の統計資料に対応して、ますます充実した最新版。

《主な目次》

- | | |
|----------------|-----------------|
| 第1章 税の意義 | 第19章～第21章 消費税法 |
| 第2章 租税法主義 | 第22章 酒税法 |
| 第3章 租税回避 | 第23章 地方税制 |
| 第4章 応能負担原則 | 第24章 国際課税 |
| 第5章 課税最低限 | 第25章～第26章 租税手続法 |
| 第6章～第13章 所得税法 | 第27章 租税処罰法 |
| 第14章～第16章 法人税法 | 第28章～第29章 租税救済法 |
| 第17章～第18章 相続税法 | |

民法全分野を1冊で学ぶ

(3月下旬発売予定)

しおみよしお
潮見佳男 著

京都大学教授

民法 (全) 第3版

A5判並製力バー付
780頁
予価5,060円(税込)
978-4-641-13885-8

基本的な事柄を中心に内容を絞った叙述で、民法総則から親族・相続法まで民法全分野をわかりやすく説明する。最初の1冊としても、復習用としても最適。所有者不明土地に関する令和3年改正等、第2版刊行後の改正を新たに反映した最新版。

《主な目次》

- | |
|----------------|
| 第1部 民法の基本的なしくみ |
| 第2部 民法総則 |
| 第3部 物権 |
| 第4部 担保物権 |
| 第5部 債権総論 |
| 第6部 契約 |
| 第7部 法定債権関係 |
| 第8部 親族 |
| 第9部 相続 |

好評テキストの第2版

(3月下旬発売予定)

やまのめあきお
山野目章夫 著
早稲田大学教授

民法概論 1 民法総則 第2版

A5判並製力バー付
396頁
予価3,520円(税込)
978-4-641-13892-6

民法財産編全体を概説するシリーズの総則編。簡潔な体系的叙述を基調としつつ、民法の理解を深め、民法への関心を高めることに資する題材を展開する。初版刊行後の法改正（成年年齢、相続関係、特別養子縁組、共有や相隣関係）等を受けて改訂。

《主な目次》

- | | |
|-------------|--------------|
| 第1章 序 説 | 第7章 意思表示 |
| 第2章 人—個人 | 第8章 無効および取消し |
| 第3章 制限行為能力者 | 第9章 代理 |
| 第4章 法人 | 第10章 条件と期限 |
| 第5章 物 | 第11章 期間の計算 |
| 第6章 法律行為 | 第12章 時効 |

【『民法概論』全4巻】

民法概論1 民法総則〔第2版〕(本巻)／民法概論2 物権法(近刊)
民法概論3 債権総論(続刊)／民法概論4 債権各論(発売中) 定価4180円(税込)

LEGAL QUEST

(3月中旬発売予定)

いしだ たけし むかわこうじ うらべひろゆき ただかひろたか あきやますひろ
石田 剛・武川幸嗣・占部洋之・田高寛貴・秋山靖浩 著
一橋大学教授・慶應義塾大学教授・関西大学教授・慶應義塾大学教授・早稲田大学教授

民法Ⅱ 物権 第4版

A5判並製力バー付
454頁
●3,080円(税込)
978-4-641-17952-3

物権全分野の基本を的確に学べる信頼のテキスト。基本事項の解説に加え、重要判決の原文を読むことができる判例紹介欄、より理解を深めたい人のためのコラムなどを用意した。令和3年の民法（所有者不明土地関係）改正に対応した待望の第4版。

《主な目次》

- | | |
|-------------|-------------|
| 第1章 序 論 | 第8章 用益物権 |
| 第2章 物権の効力 | 第9章 担保物権法序論 |
| 第3章 物権変動総論 | 第10章 抵当権 |
| 第4章 不動産物権変動 | 第11章 質 権 |
| 第5章 動産物権変動 | 第12章 非典型担保 |
| 第6章 占有権 | 第13章 先取特権 |
| 第7章 所有権 | 第14章 留置権 |

あわじ たけひさ かまた かおる はらだ すみたか いくまながゆき
淡路剛久・鎌田 薫・原田純孝・生熊長幸 著

立教大学名誉教授・早稲田大学名誉教授・東京大学名誉教授・大阪市立大学、岡山大学名誉教授

民法Ⅱ 物権 第5版

四六判並製力バー付
430頁
予価2,090円(税込)
978-4-641-15955-6

最も定評あるスタンダード・テキスト。物権・担保物権を扱う。具体例や図表を用いてわかりやすい説明を施すとともに、とくに重要な部分に★印を付すなど、様々な読者のニーズに応える。令和3年の民法改正（所有者不明土地関連）に対応した最新版。

《主な目次》

■物権法編

第1章 序論

第2章 物権の効力 序説／優先的効力／物権的請求権

第3章 物権の変動 序説／物権変動を生ずる法律行為／不動産物権変動における公示／動産物権変動における公示／立木等の物権変動と明認方法／物権の消滅

第4章 各種の物権 序説／占有権／所有権／地上権／永小作権／地役権／入会権

■担保物権法編

第1章 序論

第2章 民法典上の担保物権（典型担保） 留置権／先取特権／質権／抵当権

第3章 非典型担保 序説／仮登記担保／譲渡担保／所有権留保

民法・不動産登記法（所有者不明土地関係）改正に対応！ (3月下旬発売予定)

おおむらあつし
大村敦志 著

学習院大学教授

新基本民法2 物権編 第3版

財産の帰属と変動の法

A5判並製力バー付
226頁
予価2,090円(税込)
978-4-641-13889-6

物権法を「財の帰属と移転の法」と捉え、物権変動に重点を置きつつ、所有権の意義とその保護の問題にも光を当てる。共同所有の延長線上に位置づけられる法人制度、不登法や区分所有法にも触れ、物権法の全体像をわかりやすく解説。最新の改正に対応。

《主な目次》

総論 物と財産と所有権 (UNIT 1)

第3節 共同所有 (UNIT 9)

序章 物権とは何か (UNIT 2)

第3章 法人

第1章 物権変動

第1節 基礎理論 (UNIT 3)

第2節 各論的な検討 (UNIT 4/5)

第3節 動産の場合 (UNIT 6)

第1節 法人とは何か (UNIT 10)

第2節 法人の一般的な法律関係 (UNIT 11)

第3節 法人にかかわる変則的な現象 (UNIT 12)

第2章 所有権

第1節 所有権の効力 (UNIT 7)

第2節 所有権の制限 (UNIT 8)

補論 民法の解釈について (UNIT 13)

てじま ゆたか ふじい なるのぶ おおざわしん たろう
手嶋 豊・藤井徳展・大澤慎太郎 著
 神戸大学教授・大阪市立大学准教授・早稲田大学教授

民法Ⅲ 債権総論

A5判並製カバー付
 400頁
 予価3,190円(税込)
 978-4-641-17908-0

基本を着実なものとし、発展的な学習へ導く、新たなスタンダード・テキスト。基礎的な概念や知識を習得し、体系的に理解できるよう、債権総論を客観的かつ丁寧に解説。判例紹介・コラム等により、正確な理解と柔軟な思考力の獲得をめざす。

《主な目次》

第1章 序論 第1節 総説/第2節 債権の発生原因とその分類/第3節 債権総則の概観/第4節 民事執行手続概観
 第2章 債権の目的 第1節 総説/第2節 特定物債権/第3節 種類債権/第4節 金銭債権/第5節 利息債権/第6節 選択債権
 第3章 債権の消滅 第1節 総説/第2節 弁済/第3節 相殺/第4節 代物弁済/第5節 更改/第6節 免除/第7節 混同
 第4章 債権の効力 第1節 総説/第2節 債務不履行・履行期と履行の強制/第3節 債務不履行に基づく損害賠償の成立要件/第4節 損害賠償の範囲/第5節 損害賠償額の調整・賠償額の予定/第6節 損害賠償による代位・代償請求権/第7節 受領遅滞
 第5章 債権譲渡・債務引受・契約上の地位の移転・有価証券 第1節 総説/第2節 債権譲渡/第3節 債務引受/第4節 契約上の地位の移転/第5節 有価証券
 第6章 責任財産の保全 第1節 総説/第2節 債権者代位権/第3節 詐害行為取消権
 第7章 多数当事者の債権・債務関係 第1節 総説/第2節 分割債権・債務/第3節 連帯債務/第4節 連帯債権/第5節 不可分債権・債務/第6節 保証債務

中田裕康著作集 第一巻

(3月下旬発売予定)

なかた ひろやす
中田裕康 著
 早稲田大学教授

私法の現代化

A5判上製カバー付
 500頁
 予価9,130円(税込)
 978-4-641-13878-0

著者がこれまで発表してきた数多の論攷のうち、2017年の民法(債権関係)改正および倒産法・非営利法人法・信託法の改正に関するものをまとめる。収録論文は初出時の状態を基本としつつ、各論文内の前注・後記等で必要な補訂を行った。著者の思考の海、その記録。

《主な目次》

第1編 債権法改正
 第1部 債権法の現代化 第1章 民法の現代語化/第2章 民法の体系/第3章 債権法における合意の意義/第4章 民法(債権法)改正の経緯/第5章 民法(債権法)改正の対立軸/第6章 民法の概念の名づけ方/第7章 2016年フランス民法(債権法)改正
 第2部 改正民法のものと債権法 第8章 損害賠償における「債務者の責めに帰することができない事由」/第9章 侵害された利益の正当性/第10章 債務引受の明文化の意義と課題/第11章 当事者が3名いる相殺/第12章 当事者の共通の意思
 第2編 倒産法改正
 第13章 契約当事者の倒産/第14章 契約等に対する倒産手続開始の効力/第15章 契約法からみた双方未履行双務契約/第16章 詐害行為取消権と否認権の関係
 第3編 非営利法人法・信託法の改正
 第17章 公益的団体の財産/第18章 公益法人・中間法人・NPO/第19章 中間法人法の展望/第20章 一般社団・財団法人法の概要/第21章 取引法における一般財団法人と目的信託/第22章 新信託法の特質/第23章 非営利法人制度と信託法の改正

まえ だ よう いち もと や ま あ つ し う ら の ゆ き こ
 前田陽一・本山 敦・浦野由紀子 著
 前立教大学教授・立命館大学教授・神戸大学教授

民法Ⅵ 親族・相続 第6版

A5判並製力バー付
 514頁
 予価3,080円(税込)
 978-4-641-17953-0

親族法・相続法の基本的な事項について体系的に理解することを目指し、制度趣旨から説き起こし、要件・効果を丁寧に記述したテキスト。婚姻届等の押印義務廃止に関わる戸籍法の改正・所有者不明土地関連の法改正に伴う相続法の改正にいち早く対応した最新版。

〈主な目次〉

序 親族法・相続法総論

第1編 親族法

- 第1章 序 論
- 第2章 夫 婦
- 第3章 親 子
- 第4章 後見・保佐・補助
- 第5章 扶 養

第2編 相続法

- 第1章 序 論
- 第2章 相続人

第3章 相続の承認・放棄

- 第4章 相続の対象
- 第5章 相続分
- 第6章 遺産の共有と分割
- 第7章 配偶者の居住の権利
- 第8章 相続回復請求権
- 第9章 相続財産の清算
- 第10章 遺 言
- 第11章 遺留分

有斐閣アルマBasic

(3月下旬発売予定)

まつかわただ き
 松川正毅 著
 大阪学院大学教授

民法 親族・相続 第7版

四六判並製力バー付
 420頁
 予価2,750円(税込)
 978-4-641-22189-5

親族法・相続法分野の定評あるテキストの最新版。最近の社会情勢、法制状況の変化を織り込んでアップデート。フランスにおける考え方や家族のあり方などの紹介を通し多様な視点を提供するコラムも充実。平易な叙述で家族法を楽しく学べるコンパクトな一冊。

〈主な目次〉

PART 1 親族法

序

- 第1章 男と女(女と男) 婚約/婚姻/内縁/自由結合/性転換/同性婚/離婚
- 第2章 親と子(子と親) 実子/養子/生殖補助医療により生まれた子
- 第3章 家族構成員の保護 親権/未成年後見/後見・保佐・補助/扶養

PART 2 相続法

序

- 第1章 法定相続——遺言のない場合の相続 相続の開始/相続人/相続財産/相続分/寄与分・特別寄与料/配偶者の居住の権利/相続分の譲渡/遺産共有/遺産分割/承認・限定承認・放棄/財産分離/相続人の不存在・特別縁故者に対する分与/相続回復請求権
- 第2章 遺言と相続——遺言のある場合の相続 遺言とは何か/遺言には方式が必要/遺言をする能力/遺言の効力/遺言と対抗要件/遺贈/特定財産承継遺言(「相続させる」旨の遺言/遺言の執行)
- 第3章 法定相続と遺言の調整——遺留分 遺留分の意義/遺留分の範囲/遺留分侵害額請求権/遺留分の放棄

商法を学ぶならまずこの1冊

(3月下旬発売予定)

こがきのりたけ ほら ひろあき いとうよしひろ しまだしほ
小栢徳武・原 弘明・伊藤吉洋・島田志帆 著

大阪市立大学教授・関西大学教授・関西大学准教授・立命館大学教授

基礎から学ぶ商法

四六判並製力バー付
400頁
予価2,750円(税込)
978-4-641-13867-4

具体的なイメージがわきにくい商法分野を、経済や現代社会との関係を踏まえて解説する新しいカタチの入門書。豊富なチャートを駆使して読みやすさを追求し、商法分野の全体像をつかむことができるよう配慮。商法学習の第一歩はこの本から。

《主な目次》

- 第1編 会社法
第1章 総論/第2章 株主と株主総会/第3章 取締役・取締役会・代表取締役/第4章 監査役・監査役会・指名委員会等設置会社・監査等委員会設置会社/第5章 計算/第6章 株式/第7章 設立/第8章 資金調達/第9章 組織再編/第10章 解散・清算、倒産
- 第2編 商法総則
第1章 商人と営業/第2章 商号(商号権)/第3章 商業使用人/第4章 商業登記/第5章 営業譲渡/第6章 代理商
- 第3編 商行為法
第1章 商行為法総則/第2章 商事売買/第3章 仲立人・問屋営業/第4章 運送・倉庫・場屋
- 第4編 手形法・小切手法
第1章 約束手形・小切手の仕組みと経済的機能/第2章 約束手形総論/第3章 約束手形の振出/第4章 約束手形の裏書/第5章 約束手形の支払/第6章 為替手形と小切手/第7章 有価証券としての特徴

解説付き演習問題を多数追加

(3月中旬発売予定)

まえだまさひろ すぎきひろし きたむらまさし
前田雅弘・洲崎博史・北村雅史 著

京都大学教授・京都大学教授・京都大学教授

会社法事例演習教材 第4版

B5変型判並製力バー付
284頁
●3,630円(税込)
978-4-641-13886-5

好評の事例演習教材の最新版。2019(令和元)年の会社法改正を織り込んだ改訂。考え方の筋道を示す適確な解説が付いた演習問題を大幅に増やし、自習用としても一層使いやすくなっている。会社法の知識を定着させ、実践的な力を高めるために必携の一冊。

《主な目次》

- 【第I部 紛争解決編】
1 株式の譲渡/2 株主総会決議の瑕疵等/3 代表行為と取引の安全/4 競業取引・利益相反取引/5 取締役の報酬/6 取締役の会社に対する責任/7 取締役の第三者に対する責任/8 違法な募集株式の発行/9 設立/10 株主代表訴訟/11 監査役、会計監査人、計算/12 会社法総則の諸問題
〈授業のイメージ〉譲渡制限株式の譲渡 ほか計3題
〈演習問題〉
- 【第II部 紛争予防編】
1 株式・社債による資金調達/2 種類株式の利用/3 新株予約権の利用/4 株式単位の選択/5 自己株式の利用/6 株主総会の運営/7 指名委員会等設置会社・監査等委員会設置会社/8 閉鎖会社における定款自治と株主間契約/9 企業再編(1):親子会社関係/10 企業再編(2):合併/11 企業再編(3):会社分割・事業譲渡
〈授業のイメージ〉種類株式発行会社における譲渡制限株式・自己株式 ほか計3題
〈演習問題〉

第一人者による本格的体系書

(3月中旬発売予定)

やましたとものぶ
山下友信 著
同志社大学教授

保険法 (下)

A5判上製カバー付
628頁
●6,050円(税込)
978-4-641-13872-8

2005年刊行『保険法』を2008年制定の保険法をはじめとした法改正に対応させ、2分冊として全面改訂。保険契約のプロセスに着目した構成で、業法にも言及し、保険法の全体像を明らかにする。下巻では保険契約に基づく給付、保険契約の変動、保険契約の終了を扱う。

《主な目次》

第3部 保険契約に基づく給付

- 第1章 保険料支払義務
- 第2章 損害保険契約と保険給付義務
- 第3章 人保険契約と保険給付義務
- 第4章 保険金支払義務
- 第5章 保険給付と民事責任

第4部 保険契約の変動

- 第1章 危険の変動

第2章 契約上の地位の移転

- 第3章 保険契約の担保的利用
- 第4章 保険契約当事者の倒産

第5部 保険契約の終了

- 第1章 保険契約の終了
- 第2章 契約者価額に関する諸権利

有斐閣アルマBasic

(3月下旬発売予定)

いちかわまさ と さかまき ただし やまもとかずひこ
市川正人・酒巻 匡・山本和彦 著
立命館大学教授・早稲田大学教授・一橋大学教授

現代の裁判 第8版

四六判並製カバー付
340頁
予価1,870円(税込)
978-4-641-22196-3

法が実現される場、裁判。その全体像を正確かつコンパクトに描いた、定評のテキスト。民事裁判のIT化や少年法の改正、法曹コースの設置に伴う3+2制度の導入など、最新の動向を反映し、コロナ禍での裁判の状況にも言及した。5年ぶりの待望の改訂。

《主な目次》

第1章 法と裁判の役割

- 1 民事法の実現と民事手続
- 2 刑事法の実現と刑事手続
- 3 司法権と違憲審査権

第2章 裁判所制度

- 1 最高裁判所
- 2 高等裁判所
- 3 地方裁判所
- 4 家庭裁判所

5 簡易裁判所

第3章 法律家の役割

- 1 裁判官
- 2 検察官
- 3 弁護士

4 準法律家

5 法曹養成

第4章 裁判の仕組み

- 1 民事裁判

2 家事裁判

3 行政裁判

4 刑事裁判

5 憲法裁判

第5章 裁判をめぐる現代的課題

- 1 裁判を受ける権利
- 2 国民の司法参加
- 3 国際化と裁判
- 4 司法制度の改革

刑事法の「森」をみてみよう

(3月下旬発売予定)

みつい まこと せがわ あきら きたがわ か よ こ
三井 誠・瀬川 晃・北川佳世子 編
神戸大学名誉教授・同志社大学名誉教授・早稲田大学教授

入門刑事法 第8版

A 5判並製カバー付
350頁
予価2,750円(税込)
978-4-641-13957-2

「刑事法」全体をわかりやすく解説したロングセラーのテキスト。基礎的な事項を踏まえながらも、性犯罪や特殊詐欺など、刑事法をめぐる最新の動きを盛り込み、読者を引きつける。各所に配した“Invitation”コーナーは、実務家への誘い。

主な目次

- 序章 刑事法とは あらまし
- 第1章 刑法 あらまし/THEME1 刑法についての基本的な考え方/THEME2 犯罪とは何か/THEME3 人のいのちと刑法/THEME4 性犯罪と刑法改正/THEME5 特殊詐欺と刑法/THEME6 経済取引と刑法【Invitation to 検察官/検察事務官】
- 第2章 刑事訴訟法 あらまし/THEME1 被疑者の取調べ/THEME2 検察審査会制度/THEME3 伝聞法則/THEME4 警察捜査の実態と今後の課題【Invitation to 警察官】/THEME5 裁判【Invitation to 裁判官/裁判所事務官・裁判所書記官】/THEME6 裁判員制度【Invitation to 法曹(裁判員裁判)】/THEME7 刑事弁護【Invitation to 弁護士(刑事弁護人)】/THEME8 刑事裁判と法テラス【Invitation to スタッフ弁護士】
- 第3章 刑事学 あらまし/THEME1 わが国の犯罪状況/THEME2 なぜ人は犯罪を犯すのか/THEME3 「罰する」ことの意味/THEME4 犯罪者はどのように処遇されているか【Invitation to 刑務官/保護観察官】/THEME5 大人とは違う少年犯罪者への取扱い【Invitation to 家庭裁判所調査官】/THEME6 被害者支援をいかに実現するか

刑事司法の重要課題に新たな視座を提供する

(4月上旬発売予定)

おおたにゆう き
大谷祐毅 著
東北大学准教授

公判外供述の証拠使用と証人審問権の役割

A 5判上製カバー付
450頁
予価9,900円(税込)
978-4-641-13956-5

立法・実務でますます重視される、公判外供述の証拠使用。証人審問権はそこにどのような規律をもたらすか。アメリカに加え欧州の議論をも広く見る比較法的検討により、国内法システムの違いを超えた証人審問権の本質的役割を解き明かす。新進気鋭のモノグラフィー。

主な目次

- 序章
- 第1章 わが国における問題状況
- 第2章 憲法37条2項及び刑事訴訟法320条以下の制定過程
- 第3章 アメリカにおける議論
- 第4章 欧州における議論
- 第5章 わが国における公判外供述の証拠使用と証人審問権の機能
- 終章 ― 結びに代えて

自白法則に関する深い分析と幅広い比較法的考察 (3月下旬発売予定)

かわしまきょうすけ
川島享祐 著
立教大学准教授

自白法則の理論的構造

A5判上製カバー付
660頁
予価12,980円(税込)
978-4-641-13953-4

若手研究者による初のモノグラフィ。自白法則が、いかなる理論的構造の下で自白を排除するのかという問題を解明するため、その理論的構造がいかなるものかという問題に焦点を当て、幅広い比較法的考察を行った注目の一冊。

〈主な目次〉

- 序
第1章 我が国の問題状況
第2章 イギリス法
第3章 オーストラリア法
第4章 アメリカ法
第5章 カナダ法
第6章 ドイツ法
第7章 日本法の再検討
結語

労働法の理論と動態を描く (3月中旬発売予定)

みずまちゆういちろう
水町勇一郎 著
東京大学教授

労働法 第9版

A5判並製カバー付
532頁
予価3,520円(税込)
978-4-641-24352-1

理論的な道筋を明確に示しながら、労働法の全体像とエッセンスをあざやかに描き出す。著しい動きをみせる法令改正やガイドラインの策定・改定、重要な判例の展開に幅広く目を配り、好評の事例には働く現場の実情を反映した。待望の最新第9版。

〈主な目次〉

- 第1編 労働法の歴史と機能 第1章 労働法の歴史/第2章 労働法の機能
第2編 労働法総論 第1章 労働法の基本構造/第2章 労働法上の当事者/第3章 労働法の法源
第3編 雇用関係法 第1章 雇用関係の変遷/第2章 雇用関係の内容/第3章 非正規労働者に関する法
第4編 労使関係法 第1章 労使関係の基本的枠組み/第2章 団体交渉促進のためのルール
第5編 労働市場法 第1章 雇用仲介事業の規制/第2章 雇用政策法
第6編 労働紛争解決法 第1章 日本の労働紛争の特徴/第2章 労働紛争解決システム

1冊できわめる，知的財産法の基礎。

(3月中旬発売予定)

こいずみなおき
小泉直樹 著
慶應義塾大学教授

特許法・著作権法 第3版

A5判並製カバー付
256頁
予価2,640円(税込)
978-4-641-24353-8

知的財産法学習の中心となる，特許法と著作権法の2編で構成。条文の基本的知識を身につけ，重要判例のルールを理解したうえで，問題の道筋を見極める力を養う。初学者からロースクール生まで，基礎の修得に最適。令和3（2021）年法改正に対応した最新版！

《主な目次》

- 序論 知的財産法の概要
- 第I編 特許法
本編のあらすじ／第1章 特許の要件／第2章 特許を受ける権利／第3章 発明者・職務発明／第4章 出願・審査／第5章 審判・異議・審決取消訴訟／第6章 特許権の効力／第7章 特許権の侵害等／第8章 侵害に対する救済／第9章 特許権の経済的利用
- 第II編 著作権法
本編のあらすじ／第1章 著作物の定義／第2章 著作物の例示／第3章 二次的著作物／第4章 編集著作物・データベースの著作物／第5章 著作者／第6章 著作人人格権／第7章 著作権／第8章 著作権の制限／第9章 権利の取引／第10章 著作権の保護期間／第11章 著作隣接権／第12章 権利侵害

有斐閣ストウディア

(3月下旬発売予定)

たまだ だい みずしまとものり やまだ たくへい
玉田 大・水島朋則・山田卓平 著
京都大学教授・名古屋大学教授・龍谷大学教授

国際法 第2版

A5判並製カバー付
220頁
予価2,090円(税込)
978-4-641-15090-4

定評ある入門テキストの改訂版。国際法の世界に初めて触れる読者向けに，平易なことばでわかりやすく解説した。国際法の全体像をつかむのに最適の一冊。重要な事件やトピックについて扱うコラムも充実。初版刊行以降の世界情勢の変化に対応した最新第2版。

《主な目次》

- 第1章 主体
第2章 国家の主権
第3章 国際法の存在形式
第4章 国際法の国内的実施
第5章 国際法の国際的実施
第6章 領域
第7章 海洋，南極，空，宇宙
第8章 人権
第9章 刑事
第10章 環境
第11章 経済
第12章 武力の規制

なかにし やすし きただわ あ き よこみぞ だい はやし たかみ
 中西 康・北澤安紀・横溝 大・林 貴美 著
 京都大学教授・慶應義塾大学教授・名古屋大学教授・同志社大学教授

国際私法 第3版

A5判並製力バー付
 460頁
 予価3,300円(税込)
 978-4-641-17949-3

大学での授業や独習にも使える国際私法のテキスト。初めて国際私法を学ぶ学生でも活用できるような制度・規定の趣旨をわかりやすく丁寧に解説している。第2版(2018年)以降の重要な法改正等、大きく移り変わる国際社会の動向を踏まえた最新版。

《主な目次》

- | | |
|---|--|
| <p>第1編 序論
 第1章 国際私法の意義／第2章 国際私法の性質と考え方／第3章 国際私法の基本理念と正義／第4章 法源
 第2編 総論
 第1部 準拠法選択
 第5章 古典的・伝統的方法による規律の全体像／第6章 法律関係の性質決定／第7章 連結点／第8章 反致／第9章 準拠法の指定／第10章 外国法の適用／第11章 外国法の適用排斥——公序／第12章 先決問題・適応問題／第13章 国際的な強行法規／第14章 涉外実質法・統一法</p> | <p>第2部 国際民事手続法
 第15章 国際裁判管轄／第16章 外国判決の承認執行
 第3編 各論
 第1部 国際財産法
 第17章 自然人・法人／第18章 契約／第19章 法定債権／第20章 債権法上の諸問題／第21章 物権／第22章 知的財産権
 第2部 国際家族法
 第23章 婚姻／第24章 親子／第25章 氏名／第26章 後見・失踪宣告／第27章 扶養／第28章 相続</p> |
|---|--|

北海道大学大学院法学研究科叢書

(3月下旬発売予定)

みずの こうじ
 水野浩二 著
 北海道大学教授

葛藤する法廷

ハイカラ民事訴訟と近代日本

A5判上製力バー付
 360頁
 予価7,700円(税込)
 978-4-641-13882-7

旧々民事訴訟法(1891～1929)に初めて接した明治・大正期の法曹・当事者が、釈明権の行使や事実認定等に際して直面した種々の葛藤を丹念に描写。実務・解釈・立法の三面から、近代的民事訴訟法典がわが国に定着する過程を明らかにする。

《主な目次》

- 序章 ハイカラ民事訴訟との出会い
- 第1章 明治民訴訟の実務
- 第2章 明治民訴訟と「実務向け文献」
- 第3章 明治民訴訟の起草過程と判例・学説
- 第4章 大正一五年改正
- 結章 ハイカラ民事訴訟のその後

現在のフランスの夫婦財産制度の姿を示す

(3月下旬発売予定)

はたのひろき さいとうてつし おおしまりさ かねこよしあき いしわた み
幡野弘樹・齋藤哲志・大島梨沙・金子敬明・石綿はる美 著

立教大学教授・東京大学教授・新潟大学准教授・名古屋大学教授・一橋大学准教授

フランス夫婦財産法

A5判上製カバー付
330頁
予価7,260円(税込)
978-4-641-04831-7

フランスではバクス法や同性婚法の成立を経て多様なカップルのあり方を認めており、その財産関係の規律にあたっては様々な制度を緻密に設計している。フランス法研究だけでなく、日本法の理解にとっても重要なフランス夫婦財産制度の全体像を一覧する。

《主な目次》

序論 夫婦財産法序説	第3部 約定夫婦財産制
第1部 夫婦財産法総則	第1章 約定共通制
第1章 基本的財産制	第2章 別産制
第2章 夫婦財産制の類型とその選択	第3章 後得財産分配制
第2部 法定夫婦財産制——後得財産共通制	第4部 非婚姻カップルの財産的帰結
序章 法定共通制序説	第1章 バクスの財産的帰結
第1章 3つの財産体それぞれを構成する財	第2章 内縁の財産的帰結
第2章 財産の管理	付録 フランス民法典条文訳
第3章 共通制の終了	

条約集の決定版！

(3月中旬発売予定)

うえきとしや なかたにかずひろ
植木俊哉・中谷和弘 編集代表

東北大学教授・東京大学教授

国際条約集2022年版

B6判並製箱入
1,006頁
●3,080円(税込)
978-4-641-00158-9

1950年創刊以来の編集実績を誇る信頼の条約集。翻訳文は正確かつ読みやすく、国際法を理解するうえで必須の条約・国際文書を厳選して収録。2022年版では、日米デジタル貿易協定、国際航空業務通過協定、OECD外国公務員贈賄防止条約、ロシア憲法等の9件を新たに追加。初学者から研究者まで必携の1冊。

《本年版の特色》

〔新収録〕 調停(国連海洋法条約附属書V)、国際航空業務通過協定、OECD外国公務員贈賄防止条約、日米デジタル貿易協定、ロシア憲法、不正競争防止法、地球温暖化対策推進法、宇宙活動法、宇宙資源法
〔主な改訂〕
収録拡大：強制労働の廃止に関する条約(ILO105号)、欧州連合基本権憲章、サイバー犯罪に関する条約、貿易関連知的所有権(TRIPS)協定、投資紛争解決条約、地域的な包括的経済連携(RCEP)協定、日・EU経済連携協定、有害廃棄物越境移動規制条約(バーゼル条約)(1995年のBAN改正を注記のうえ関連規定を追加)、国際保健規則(2005年版)
改正織込み：国際海洋法裁判所規則(2020年9月25日発効の改正)、国際司法裁判所規則(2020年6月25日発効の改正)
〔収録内容〕 国際組織、国家、国際交渉の機関、条約、領域、国籍、人権、国際犯罪、経済、文化、環境、国際紛争処理、安全保障、武力紛争、軍縮・軍備管理、第二次大戦と日本、歴史的文書の全17章に「追録」「関係国内法」を加え、学習・研究に重要な条約その他の国際文書を豊富に掲載。巻末付録に「条約の当事国表」「国際裁判一覧表」などを掲載。
総件数389件(前年比9件増)

いとう まこと
伊藤 眞 著
東京大学名誉教授

続々・千曲川の岸辺

伊藤 眞 随想録Ⅲ

四六判上製力バー付

300頁

予価2,970円(税込)

978-4-641-49977-5

喜寿を迎えなお民法法学界をリードする著者が前著『千曲川の岸辺』続・千曲川の岸辺』刊行後に公表した各書はしがき・書評・講演録を収録するとともに、研究活動や趣味を通じて得た幅広い人的交流を紹介する随想録の第3弾。研究者としての使命感と人生観が伝わる書。

《主な目次》

はしがき

第1部 地獄谷の湯煙

続々・折々の記／自著を語る——続・老書生交友鈔／ジュリストとともに50年／法制審議会へのかかり／通説への挑戦 (undéfi) ／ (インタビュー) 法学徒の歩み

第2部 菅平の秋

宮川知法教授の人と業績／三宅省三先生と私／須藤正彦さんを偲ぶ／中野貞一郎先生の巨歩／高木新二郎博士の急逝を悼む／竹下守夫先生のご逝去を悼む

第3部 白銀の志賀高原

民事訴訟法第5版はしがき／民事訴訟法第6版はしがき／民事訴訟法第7版はしがき／破産法・民事再生法第4版はしがき／破産法・民事再生法第5版はしがき／会社更生法・特別清算法はしがき／消費者裁判手続特例法第2版はしがき／倒産法入門はしがき／伊藤眞古稀後著作集はしがき

第4部 無言館と戦没画学生

破産手続のUrprungsort (原点) へ／導きの糸鞠／輝くハンドブック／民事司法を支える名脇役／書評・民事裁判の法理と実践／コロナ禍と訴訟運営／篤学篤実の人／日本経済活力の源／書評・判事がメガネをはずすとき／本書刊行に寄せて／人に寄り添う～法律家への誘い

有斐閣

法律用語辞典

第5版

法令用語研究会 編

四六判上製箱入 1224頁 定価5,720円 978-4-641-00030-8

総収録項目数 約1万4000。

約600の項目を新たに採録。

1項目200字前後の簡潔な解説。

「又は／若しくは」、「直ちに／速やかに」の違いなど、法律用語独自のルールも明解に。

旧版(2012年)以降の新法・改正法に対応。

内容基準日: 令和2年1月1日。

ただし、必要に応じて基準日後に公布されたものも盛り込んだ。

【対応した主な新法・改正】

行政不服審査法, マイナンバー法, 特定秘密保護法, 平和安全法制関連法, 民法(債権関係, 相続関係等), 商法, 会社法, 刑法, 自動車運転死傷処罰法, 刑事訴訟法, 少年院法, 働き方改革関連法ほか。

法令用語研究会 編

有斐閣
法律用語
辞典
第5版

法律用語に特化した、有斐閣の「国語辞典」!

総収録項目数
約1万4000



有斐閣

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
(表示価格は税込です)

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

官僚は何を考え、何を目的にしているのか

(3月下旬発売予定)

きたむら わたる
北村 亘 編
大阪大学教授

現代官僚制の解剖

意識調査からみた省庁再編20年後の行政

A 5判上製カバー付
230頁
予価4,290円(税込)
978-4-641-14940-3

政治主導の強化の中で、現代日本の官僚たちは、日常業務や組織運営、そして政治や政策課題に対してどのような認識を抱いているのだろうか。こういった行政官僚制に関する未解明の古典的問いを、約20年ぶりに実施された包括的な官僚意識調査から多面的に分析する。

主な目次

- はじめに：官僚意識調査から見た日本の行政——2019年調査から見えてきた日本の行政の変容（北村亘）
- 第1章 省庁再編後の日本の官僚制——2019年調査のコンテクスト（北村亘・小林悠太）
- 第2章 政策選好で見る官僚・政治家・有権者の関係（曾我謙悟）
- 第3章 官僚の目に映る「官邸主導」（伊藤正次）
- 第4章 政策選好と官僚の選好（本田哲也）
- 第5章 なぜデジタル化は進まないか——公務員の意識に着目して（砂原庸介）
- 第6章 2019年の中央官庁の地方自治観（北村亘）
- 第7章 官僚のパブリック・サービス・モチベーションと職務満足（柳至）
- 第8章 何が将来を悲観させるのか——リーダーシップ論からの接近（小林悠太）
- 第9章 官僚にワークライフバランスをもたらすものは何か（青木栄一）
- 第10章 日本の官僚制はどこに向かうのか（北村亘）

有斐閣ブックス

(4月上旬発売予定)

もりい ゆういち
森井裕一 編
東京大学教授

ヨーロッパの政治経済・入門 新版

A 5判並製カバー付
356頁
予価3,080円(税込)
978-4-641-18457-2

ヨーロッパ域内の主要国・地域の政治・経済・国際関係、統合の流れ、そしてEUに関する基礎的な事項をまとめて学べる好評テキストの最新版。各章の内容のアップデートはもちろん、ギリシャやロシア・中国との関係など、新たな話題も盛り込んでますます充実。

主な目次

- 序章 ヨーロッパとEU（森井裕一）
- 第I部 ヨーロッパの主な国々
- 第1章 フランス（山田文比古）
- 第2章 ドイツ（森井裕一）
- 第3章 イタリア（八十田博人）
- 第4章 ベネルクス三国（正躰朝香）
- 第5章 南欧（武藤 祥）
- Close up① ギリシャ（村田奈々子）
- 第6章 北欧（五月女律子）
- 第7章 中東欧（仙石 学）
- Close up② クロアチア、ブルガリア、ルーマニア（同上）
- 第8章 イギリス（小川浩之）
- 第II部 ヨーロッパ統合とEU
- 第9章 ヨーロッパ統合の歴史（戸澤典典）
- 第10章 EUのしくみ（森井裕一）
- 第11章 EUの経済政策（岩田健治）
- 第12章 EUを取り巻く地域（東野篤子）
- Close up③ EUとロシア（同上）
- 第13章 EUの対外政策（森井裕一）
- Close up④ EUと中国（同上）
- 第14章 EUの安全保障・防衛政策（小林正英）

みやかわただ お

宮川公男 著

一橋大学、麗澤大学名誉教授

基本統計学 第5版

A5判上製力バー付
360頁
予価3,190円(税込)
978-4-641-16596-0

長年好評を博してきた、信頼の厚い定番テキスト。初歩から段階を踏んで解説。やや難しい箇所には印を付し、目的に合わせた学習ができる。練習問題も充実している。近年の動向に合わせて、新たにデータ・サイエンスとの関連を説明する章を設けた最新版。

《主な目次》

- 序章 不確かさの時代に向き合う基本統計学
第1章 平均値と分散
第2章 度数分布
第3章 回帰と相関の分析
第4章 確率
第5章 確率変数と確率分布
第6章 主な確率分布
第7章 標本分布
第8章 推定
第9章 検定
第10章 回帰の推測統計理論
終章 統計学の歴史、因果関係分析、データ・サイエンス

にしおかみき お

西岡幹雄 著

同志社大学教授

Ideas and Economy in Japan

Innovation and Tradition

A5判上製力バー付
280頁
予価6,160円(税込)
978-4-641-49976-8

近世・近代日本の著名な政治経済学者の事績を西欧思想との共通性と日本の特殊性に注目し解説する。全文英語。A history of Japanese economic thought, focusing on the modern period. Full text in English.

《主な目次》

- Chapter 1 Framework and method for formation and development of Japanese economic society
Chapter 2 The circulation of 'the reason of the natural universe' and the socio-economic thought of 'peace reigns' by Ito Jinsai (伊藤仁斎)
Chapter 3 Political economy and public welfare in Dazai Shundai (太宰春台): Institutionalisation and Joheiso (常平倉)
Chapter 4 Honda Toshiaki (本多利明) and the Institutional Innovation: The vision of 'enrichment of Japan'
Chapter 5 Nakai Chikuzan (中井竹山) and his economic thought on a stable regional society: 'Institutional framework' and Shaso (社倉, the community warehouse) plan
Chapter 6 Konei and local bond: Nakai Chikuzan and Konishi Ichu (小西惟冲) in the institutionalisation of Shaso storage
Chapter 7 'Enriching the country' in Yokoi Shonan (横井小楠) and his strategic framework of 'the opening of Japan to the world'
Chapter 8 The conflict and the development in modern Japanese economic thought
Chapter 9 Seki Hajime (関一)'s urban socio-economic policy and his economic thought
Bibliography/List of the first publications/Name Index

わたなべゆき お おがわまさひろ くみ せ なおひろ むこやまさお
渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫 著

慶應義塾大学名誉教授・青森大学特任教授・アジア中小企業協力機構理事長・流通科学大学教授

21世紀中小企業論 第4版

多様性と可能性を探る

四六判並製カバー付
 376頁
 予価2,420円(税込)
 978-4-641-22195-6

第一次産業を除く企業の99.7%を占める中小企業。多くの人にとっての働く場であり、自己実現の場である中小企業の多様性を事例をまじえながら描く好評テキストの最新版。コロナ禍での不況で悪化する、中小企業の環境と3つの「中小企業問題」についても厚く論じる。

《主な目次》

- 第1章 中小企業で働くこと = 渡辺幸男
- 第2章 企業の創業と進化 = 小川正博
- 第3章 中小企業とは何か = 渡辺幸男
- 第4章 戦後日本の中小企業問題の推移 = 黒瀬直宏
- 第5章 戦後日本の中小企業発展の軌跡 = 黒瀬直宏
- 第6章 ものづくりと中小企業 = 渡辺幸男
- 第7章 中小製造業の経営 = 小川正博
- 第8章 中小商業と流通 = 向山雅夫
- 第9章 中小商業経営と商人性 = 向山雅夫
- 第10章 中小企業の金融 = 小川正博
- 第11章 戦後日本の中小企業政策の変遷 = 黒瀬直宏

たなかそう おさべしげやす くほひろまさ いわたけんじ
田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治 著

東北大学名誉教授・法政大学名誉教授・摂南大学教授・九州大学教授

現代ヨーロッパ経済 第6版

四六判並製カバー付
 504頁
 予価3,190円(税込)
 978-4-641-22191-8

EU統合の歴史、ヨーロッパ経済の過去と現在を体系的に解説して好評を得てきたテキストの最新版。新型コロナウイルス危機と「グリーン復興」、グリーン・ディール、中国の台頭などかつてない変化の中にあるヨーロッパ。グリーン化とデジタル化による発展に挑戦するEUを描く。

《主な目次》

- 序章 現代ヨーロッパ経済をみる眼
- 第I部 EU統合の展開
 - 第1章 世界の地域経済統合とEU統合の独自性
 - 第2章 関税同盟と単一市場
 - 第3章 EUの共通政策とEU財政
 - 第4章 通貨協力からユーロへ
 - 第5章 2020年代のEU：グリーン・デジタル・グローバル
- 第II部 現代ヨーロッパ経済の動き
 - 第6章 EU経済と産業
 - 第7章 ユーロ圏の金融危機と金融政策
 - 第8章 EUの地域格差・人の移動とEU地域政策
- 第III部 EU諸国の経済と統合
 - 第9章 フランスとEU経済
 - 第10章 ドイツとEU経済
 - 第11章 イタリア・その他のEU諸国とEU経済
 - 第12章 中・東欧諸国とEU経済
 - 第13章 イギリスとEU経済
- 第IV部 EUの対外通商関係と地域的基軸通貨ユーロ
 - 第14章 EUと対外通商関係
 - 第15章 世界経済の中のユーロ
- 終章 2020年代のEUと中国、そしてインド太平洋

時代を映す鏡＝事件を通して、それぞれの企業・企業像に迫る (3月下旬発売予定)

たけだ はるひと
武田晴人 著

公益財団法人三井文庫文庫長、東京大学名誉教授

事件から読みとく日本企業史

四六判並製力バー付
330頁
予価2,970円(税込)
978-4-641-16595-3

明治以降の企業が、それぞれの時代に、どのような役割を果たしていたのか？ またどのような役割を果たすものと考えられていたのか？ 政府との関係、株主との関係、取引相手との関係、従業員との関係など、企業に関わる人々や時代背景との関係から読みとく。

《主な目次》

はしがき／第1章 小野組破綻——曖昧だった営業の自由／第2章 日本郵船誕生——政争に巻き込まれた政商／第3章 足尾鉍毒事件の裏側——企業と地域社会／第4章 株主の異議申し立て——物言う株主／第5章 日糖事件——暗躍する「悪徳重役」／第6章 綿業総解合——市場の暴走／第7章 三菱・川崎争議——協調的労資関係の起源／第8章 東京電灯の経営破綻——株式会社亡国論の背景／第9章 経済統制と企業活動——「営利目的」は必要か／第10章 トヨタ争議——日本的経営・協調的労使関係の源流／第11章 三池争議と労働組合——協調的労使関係への最終局面／第12章 住友金属事件——行政指導と企業／第13章 公害と企業の社会的責任——長く放置された被害者／第14章 IBMスパイ事件と東芝事件——対外貿易摩擦と日本企業／第15章 投機的利潤追求と金融システム——住専問題を生んだ狂乱／第16章 山一証券の自主廃業——甘い期待が招いた失敗／あとがき

有斐閣アルマInterest

(3月下旬発売予定)

かわもと じゅん のぐちまさよし あさみゆうこ やまだじゅんべい あらたえいこ
川本 淳・野口昌良・浅見裕子・山田純平・荒田映子 著

元学習院大学教授・東京都立大学教授・学習院大学教授・明治学院大学教授・慶應義塾大学教授

はじめて出会う会計学 第3版

四六判並製力バー付
350頁
予価2,200円(税込)
978-4-641-22197-0

はじめて学ぶ人のために、軽快な語り口で会計の考え方のエッセンスを解説。会計情報の本質を理解し、決算書を読みこなす基礎力が身につく。会計基準の動向等を踏まえて、よりわかりやすく記述を更新し、会計制度の歴史をめぐる解説や付録の事例も変更した最新版。

《主な目次》

第1章 会計の目的
第2章 会計基準と会計制度
第3章 収支の期間配分
第4章 利益の認識と測定
第5章 複式簿記
第6章 資産・負債の認識・測定
第7章 費用配分のパリエーション
第8章 資本金
第9章 決算書の分析
第10章 会計単位
第11章 会計情報の役立ち
第12章 監査と粉飾

さくらい ひさかつ す だ かずゆき
桜井久勝・須田一幸 著

公認会計士・監査審査会会長・元早稲田大学教授

財務会計・入門 第15版

企業活動を描き出す会計情報とその活用法

四六判並製カバー付
314頁
予価1,980円(税込)
978-4-641-22199-4

企業が営む主要な活動に焦点を当て、財務諸表の作成プロセスを平明に解説し、変貌する財務会計の最新情報を盛り込んで好評を博してきたテキストの最新版。データを最新にして、新しい内容を盛り込んで、理解がいつそう深まるように工夫した。

《主な目次》

- 第1章 会計の種類と役割
- 第2章 財務会計のシステムと基本原則
- 第3章 企業の設立と資金調達
- 第4章 仕入・生産活動
- 第5章 販売活動
- 第6章 設備投資と研究開発
- 第7章 資金の管理と運用
- 第8章 国際活動
- 第9章 税金と配当
- 第10章 財務諸表の作成と公開
- 第11章 企業集団の財務報告
- 第12章 財務諸表による経営分析

いわま あきこ やまと れいこ たま やすこ
岩間暁子・大和礼子・田間泰子 著

立教大学教授・関西大学教授・大阪府立大学名誉教授

問いからはじめる家族社会学 改訂版

多様化する家族の包摂に向けて

A5判並製カバー付
240頁
予価1,980円(税込)
978-4-641-15093-5

ジェンダーや国際比較の視点から身近な存在である家族をとらえなおす家族社会学の好評入門テキスト。初版刊行後の7年で家族をめぐる状況は変わったのか、制度や統計データに関する記述を更新し、新型コロナ禍で生じた新たな課題なども盛り込んだ最新版。

《主な目次》

- 第1章 「家族」を読み解くために——本書の視点と構成
- 第2章 「近代家族」の成立
- 第3章 家族・貧困・福祉
- 第4章 結婚
- 第5章 就業と家族
- 第6章 妊娠・出産・子育て
- 第7章 親—成人子関係のゆくえ
- 第8章 個人・家族・親密性のゆくえ

ひらい たろう まつ おこういちろう やまぐちけい こ
平井太郎・松尾浩一郎・山口恵子 著
弘前大学教授・帝京大学教授・東京学芸大学教授

地域・都市の社会学

実感から問いを深める理論と方法

A5判並製力バー付
260頁
予価2,090円(税込)
978-4-641-15095-9

身近な地域の生活に触れ、都市の問題を知ることから、社会学の世界へ入っていく。都市問題や地域住民の課題、人と人の距離、排除や貧困など、具体的な社会問題について実際に手や足を動かして考えながら、社会的センスを磨いていく新時代のテキスト。

《主な目次》

第I部 地域を実感する

第1章 地域と都市はどのように実感されるか——「距離」への敏感さ 第2章 地域・都市はどのように形づくられたか——人びとの空間的共存を捉える視点 第3章 空間と場所の問い方——マクロ・ミクロからのアプローチ

第II部 地域に集まる力/世界に広がる力

第4章 グローバル化とどのように向き合うのか——再生産領域への労働移動から考える 第5章 ナショナルなもの地域・都市——〈中心〉と〈周辺〉、その先にあるもの 第6章 ローカル・トラックとは何か——進学・就職をめぐる理想と現実

第III部 地域・都市で生まれる社会

第7章 都市の公共空間——人の集まる場所のしくみ 第8章 都市の不平等はどのように進行しているのか——異質性と排除が結びつくとき 第9章 コミュニティはどこから来てどこへ行くのか——語りのダイナミズム

第IV部 地域・都市のこれから

第10章 「限界集落」の「限界」はどう乗り越えられるか——ここに生きる意味の承認 第11章 地域・都市はどこへ行くべきか——地域への問いと社会的想像力 第12章 創造と継承——都市の未来、都市の歴史

むくのみちこ たなかこうたろう
棕野美智子・田中耕太郎 著
松山大学特任教授・前放送大学客員教授

はじめての社会保障 第19版

福祉を学ぶ人へ

四六判並製力バー付
334頁
予価1,980円(税込)
978-4-641-22202-1

2021年中の法改正・最新のデータに対応した決定版テキスト。この1冊で、制度の基本的な考え方から最前線の状況まで、社会保障をまるごと理解できます。驚くほどわかりやすく、読みやすく、おもしろい本書は、制度の成り立ちを自分で考えたい本です。

《主な目次》

序章 社会保障の見取り図

- 第1章 医療保険——病気やけがをしたら
- 第2章 生活保護と社会福祉制度——人らしい生活を保障する
- 第3章 介護保険——介護サービスを利用しやすく
- 第4章 年金——老後の生活費は
- 第5章 雇用保険——失業したら
- 第6章 労働者災害補償保険——働く場でけがをしたら
- 第7章 社会保険と民間保険——2つの保険、その特徴は
- 第8章 社会保障の歴史と構造

法と心理学会公認！ 公認心理師カリキュラム完全対応！ (3月中旬発売予定)

ほう しんり がっかい 法と心理学会 監修 わたむらえいいちろう ふじた まさひろ いたやま あきら あかみね あ き 綿村英一郎・藤田政博・板山 昂・赤嶺亜紀 編
大阪大学准教授・関西大学教授・関西国際大学講師・名古屋学芸大学教授

入門 司法・犯罪心理学

A5判並製カバー付
318頁
●2,530円(税込)
978-4-641-17474-0

心理学と法学の接点である「司法・犯罪心理学」を、心理学と司法の専門家・実践家が基礎からやさしく解説する有斐閣ならではの1冊。「当事者目線」を軸に公認心理師が現場でどのように活躍できるかを描き出す。学会監修で公認心理師カリキュラムにも完全対応。

《主な目次》

- 第1章 関連法、施設、職種 (入山茂・今村洋子)
第I部 犯罪の原因
第2章 犯罪の生物学的要因 (増井啓太) 第3章 犯罪の心理的要因 (増井啓太) 第4章 犯罪の社会的要因 (板山昂)
第II部 非行・犯罪への対応
第5章 非行 (澤田尚宏) 第6章 DV (相馬敏彦) 第7章 虐待 (越智啓太) 第8章 物質・プロセス依存 (越智啓太) 第9章 窃盗・特殊詐欺・サイバー犯罪 (越智啓太)
第III部 司法の手続きと対応の流れ
第10章 捜査、供述、精神鑑定 (石井隆・大山朗宏) 第11章 サポートが必要な被害者や被疑者への聴取 (上宮愛) 第12章 目撃証言 (福島由衣) 第13章 裁判 (藤田政博)
第IV部 支援
第14章 加害者の立ち直り支援 (神垣一規) 第15章 司法と被害者 (白岩祐子) 第16章 子ども支援 (中園江里人)

有斐閣コンパクト

(3月中旬発売予定)

にしおか な え いしいてるまさ たなかこうじ 西岡加名恵・石井英真・田中耕治 編
京都大学教授・京都大学准教授・京都大学名誉教授、佛光大学教授

新しい教育評価入門 増補版

四六判並製カバー付
304頁
●2,200円(税込)
978-4-641-17476-4

人を育てる評価のために

評価を変えれば、教育が変わる！ 評価は単なる成績づけではない。成長を捉え、授業や学校をも改善する教育の営みそのものだ。評価論の全体像を体系的にコンパクトに学べます。2017・18年学習指導要領、19年指導要録、入試改革、GIGAスクール等、最新動向を増補。

《主な目次》

- 序章 教育評価とは何か (西岡加名恵)
第1章 教育評価の立場—評価の物差しにはどんな違いがあるのか (石井英真)
第2章 教育評価の機能—何のために評価情報を用いるのか (二宮衆一)
第3章 教育目標と評価—何を目標とすればよいのか (石井英真)
第4章 学力評価の方法—評価の質をどう高めるのか (遠藤貴広・渡辺貴裕)
第5章 教育実践の改善—評価を指導にどう活かせばよいのか (西岡加名恵)
第6章 学校経営と評価—学校の教育活動をどう評価すればよいのか (赤沢早人・八田幸恵)
第7章 教育評価の制度—評価と社会はいかなる関係を取り結んできたのか (樋口太郎・樋口とみ子)
第8章 日本における教育評価の歴史—より豊かな評価を求めて (田中耕治・川地亜弥子)
巻末資料 (年表)：戦後学習指導要領の特徴／戦後児童指導要録の特徴

そのだしげと
園田茂人 編
東京大学教授

はじめて出会う中国 改訂版

四六判並製カバー付
200頁
予価2,200円(税込)
978-4-641-22181-9

国際社会における存在感がますます高まる中国。中国に関する情報も増え、その実像はつきみにくくなっている。本書は、さまざまなイメージをもたれる中国を、客観的に理解するために必要な政治・社会に関する基礎知識をわかりやすくかつコンパクトに解説する。

《主な目次》

- 第1部 この大国をどうやって統治しているのか
第1章 統合ツールとしての中国共産党：組織と個人のダイナミズム（小嶋華津子）
第2章 「上有政策，下有対策」から「社会の安定」の時代へ：中央・地方・個人の微妙な力学（平野聡）
第3章 多民族統治の困難：「中華民族」の理想と現実（平野）
第4章 戸籍という身分制度：大量移動時代のパスポート（園田茂人）
第2部 市場経済化がどのような変化をもたらしているのか
第5章 階層化という鬼つこ：格差は社会に混乱をもたらすか（園田）
第6章 学歴社会の誕生：高等教育の大衆化という文化的遺伝子（園田）
第7章 経済成長は民主化をもたらすか：天安門事件後のエリート政治の新展開（小嶋）
第8章 消費され輸出される文化：グローバル化とローカル化のはざままで（谷垣真理子）
第3部 中国は世界で尊敬される国になるか
第9章 中国人は世界をめざす：華人ディアスポラの現在（谷垣）
第10章 自強という見果てぬ夢：愛国主義とナショナリズムのゆくえ（加茂具樹）
第11章 新しい国際秩序の誕生？：中国の「大国」外交とは何か（加茂）
第12章 友好から敵対へ？：日本の対中世論悪化をめぐって（園田）

日本教育法学会年報 第51号 2022

(3月下旬発売予定)

にほんきょういくほうがっかい
日本教育法学会 編

公教育の危機と再構築

COVID-19と教育法

A5判並製
230頁
予価4,400円(税込)
978-4-641-22835-1

《主な目次》

会長挨拶（内野正幸）／【研究総会】報告①：コロナ禍と教育法学の課題（竹内俊子），報告②：教師の職務上の責任と権利——現代的課題（勝野正章）／【第1分科会：外国にルーツのある子どもたちと教育を受ける権利】報告①：外国にルーツのある子どもたちの教育を受ける権利と国際人権法上の非差別・平等原則（佐々木亮），報告②：日本における移民の子どもたちの教育権をめぐる現状と課題（山野上麻衣），討論／【第2分科会：学術専門組織・学術体制の自律と学問の自由】報告①：日本学術会議問題と学問の自由——研究者の独立という視点から（堀口悟郎），報告②：戦後日本の学術体制，科学技術政策の変遷と高等教育法制の変容（細井克彦），討論／【公開シンポジウム：COVID-19と子どもの権利】報告①：コロナ禍と教育（植野妙実子），報告②：コロナ禍での障害のある子どもたちの学校と現状（今賀真実），討論／【自由研究発表】（大津尚志・丸山啓史・宮盛邦友・小野方資・小林和記・山崎洋介）／【投稿審査論文】新教育委員会制度における教育長の法的地位——教育委員会による教育長への指揮監督権の存否の教育法的検討（小林和記）／教育法の研究動向／教育法この1年／学会記事

にほんこくさいせいじがっかい
日本国際政治学会 編

検証 エコノミック・ステイトクラフト

国際政治 第205号

A 5判並製
210頁
●2,200円(税込)
978-4-641-49978-2

国家が軍事的手段でなく経済的手段によって他国に対して影響力を行使しようとするエコノミック・ステイトクラフトが、近年多用され、21世紀の国際秩序に大きな影響を与えている。本号では、その効果や正統性について、理論的・実証的にさまざまな角度から検討する。

《主な目次》

- 「検証 エコノミック・ステイトクラフト」(鈴木一人)
 - 「エコノミック・ステイトクラフト (Economic Statecraft) の理論と現実」(佐藤丙午)
 - 「エコノミック・ステイトクラフトの歴史と未来——メガラ禁輸からTPPまで」(長谷川将規)
 - 「対米直接投資規制の決定過程からみるエコノミック・ステイトクラフト」(杉之原真子)
 - 「中国のエコノミック・ステイトクラフトと台湾——『惠台政策』における観光客の送り出しの事例分析」(松本充豊)
 - 「中国の強制的エコノミック・ステイトクラフトの論理——レアアース資源外交を中心に」(張雲)
 - 「中東発エコノミック・ステイトクラフトの検証——変化する域内安全保障の中で」(小林周)
- 独立論文3本／書評論文2本／書評3本

にほんこくさいせいじがっかい
日本国際政治学会 編

国際政治のなかの同盟

国際政治 第206号

A 5判並製
200頁
予価2,200円(税込)
978-4-641-49979-9

ギリシャ都市国家間など古くから存在する同盟は、21世紀の現在でも依然として現実政治における大きな関心事であり、また重要な学術的課題であり続けている。本号では、新たな史料を用いた歴史研究、あるいは理論研究から同盟の変化や新たな側面にアプローチする。

《主な目次》

- 「序章 国際政治のなかの同盟」(青野利彦)
 - 「一八三〇年代の四国同盟——ロシアの対イギリス政策の視点から」(矢口啓朗)
 - 「日本の枢軸同盟政策と対ソ政策——『反ソ防共』から『連ソ容共』へ」(田嶋信雄)
 - 「動的的同盟理論——分断戦略と結束戦略の相互作用と冷戦初期の米中ソ関係」(泉川泰博)
 - 「日米同盟の歴史的推移と理論的構図——パワーと脅威の均衡と日本の同盟政策」(福島啓之)
 - 「脱植民地化と西側同盟——アルジェリア戦争とフランス・ベルギー関係」(藤井篤)
 - 「原子力潜水艦の日本寄港問題——核兵器技術の発展と同盟管理のジレンマ」(中島琢磨)
 - 「『2+2』の質的变化による日米同盟強化への影響——90年代から新『日米防衛協力のための指針』策定まで」(三百苜拓志)
 - 「日米豪の安全保障協力——『ハブ&スポークス』体制の変容?」(佐竹知彦)
- 独立論文2本／書評論文2本／書評2本

にほんこくさいせいじがっかい
日本国際政治学会 編

ラテンアメリカ—内政と国際関係の再検証

国際政治 第207号

A5判並製
200頁
予価2,200円(税込)
978-4-641-49980-5

約20年ぶりの『国際政治』ラテンアメリカ特集号。21世紀のラテンアメリカでは内政と国際関係の潮流に大きな変化が見られる一方、ラテンアメリカ政治の過去や現在に関する理解もまた多様な研究手法を通じて日々更新されている。その最新の成果を示す論文8点を所収。

《主な目次》

- 「序章 二一世紀ラテンアメリカの政治研究——民主主義と内政・国際関係」(宮地隆廣)
 - 「チャベス政権支持増減の要因としてのマクロ経済と再分配政策——世界資本主義の中のラテンアメリカ政治への含意の視角から」(出岡直也)
 - 「ニカラグアにおける個人化への過程——内政・国際関係／短期・長期的要因分析」(大澤傑)
 - 「ラテンアメリカの移行期正義の特徴——多様な移行期正義像に向けて」(大串和雄)
 - 「ラテンアメリカにおけるポストネオリベリズム期の地域統合——その歴史的文脈と新たな統合の試み」(浦部浩之)
 - 「戦略的パートナーシップを通じたブラジル気候変動対策への中国の関与」(舛方周一郎)
 - 「日本とキューバ革命——一九五九年のゲバラ使節団」(ロメロ・イサミ)
 - 「『地球儀を俯瞰する外交政策』と中南米日系社会との連携に関する一考察——パンアメリカン日系大会の視座から」(浅香幸枝)
- 独立論文2本／書評論文3本／書評3本

* * *

にほんほうしゃがいがっかい
日本法社会学会 編

つなぐ法・きりはなす法

A5判並製
286頁
予価4,730円(税込)
978-4-641-12635-0

《主な目次》

- ◆全体シンポジウム「つなぐ法・きりはなす法」
企画趣旨 藤本 亮
石田慎一郎／郭 薇／久保秀雄
 - ◆企画関連ミニシンポジウムⅠ「被害者と加害者をつなぐ法」
平山真理／黒澤 陸／鴨下智法・平山真理／齋藤章佳
 - ◆企画関連ミニシンポジウムⅡ「ソーシャルメディアと法：つながりと分断」
成原 慧／松尾 陽／尾崎一郎
- 【論 説】馬場健一／北村隆憲／郭 薇／佐々木通孝
【書 評】

法学部での「学び」が分かる。「卒業後の将来」が分かる。(3月下旬発売予定)

ほうがくぶ まな
法学部で学ぼう！プロジェクト 編

「法学部」が面白いほどよくわかる

B5判並製
128頁
予価990円(税込)

高校生が進路を考え始めたら

有斐閣が贈る「法学部」の入門書。法学部で学べば、法律家に限らずあらゆる職業で活躍するためのスキルが身に付きます。法学部では何を学ぶのか、卒業後はどんな進路があるのか、様々な学校の教員・卒業生・現役生から「法学部」の魅力を紹介する1冊です。

《主な目次》

第1部 法学部を出た後の将来は？

法学って将来何の役に立つの？ データで見る法学部の卒業後進路 社会で活躍する先輩に聞いてみよう (みずほ銀行/P&G/伊藤忠商事/九州電力/NTT/SCRAP/都立高校/フリーランス) 公務員になりたい！(都道府県庁/市町村役所/中央官庁/警察官/裁判所書記官/国税専門官/労働基準監督官) 法律家になるまでの道のりは険しい？(裁判官/検察官/弁護士/その他士業)

第2部 法学部ってこんなところ

法学部で学ぶって何だろう？ 学生生活のホンネ 法学部生の必携アイテム 法学って面白いの？(民法/知的財産法/労働法/刑法) 模擬授業「法学部へようこそ」 受験につながる、法学のキーワード！

第3部 法学にもっと触れたい！と思ったあなたへ

裁判所へ行ってみよう 身近なエンタメで法学を感じてみよう！

第4部 法学系大学の紹介

PR誌 読者と著者を結ぶ…

(3月1日発行)

書斎の窓

3月号
(第680号)

A5判並製 定価：無料

《主な目次》

【巻頭のことば】

原因を探る作法を通して〈今〉を読む⑥(最終回) 謎解きは連載のあとで？ = 久米郁男

【法律・政治】

〈連載〉憲法と学校⑥憲法二六条と公教育・教育の自由 = 木村草太

〈自著を語る〉「法から学ぶ文化政策」 = 小林真理・小島 立・土屋正臣・中村美帆

〈書評〉政治意識研究の「王道」を行く(『大阪の選択——なぜ都構想は再び否決されたのか』) = 飯田 健

【経済・経営】

〈連載〉女性の働き方と社会保障①女性の稼得収入と社会的地位——ジェンダー・ギャップ指数があらわすもの = 永瀬伸子

【自著を語る】

ぼっぼーさんとホッホーさんがミクロ経済学を学んだようです(『ろけっとぼっぼー&ホッホー博士と学ぶミクロ経済学入門——「市場」って何だろう？』) = 竹内健蔵

『基礎から学ぶマーケット・デザイン』を刊行して = 川越敏司

ボルネオの熱帯木材を通して見た地球環境への意識(『環境経済学の第一歩』) = 大沼あゆみ・栢植隆宏

理論と実務の融合、学問を楽関する(『サービス・マーケティング——コンサル会社のプロジェクト・ファイルから学ぶ』) = 浦野寛子

【人文・社会】

〈連載〉これからのジェンダー平等③「性別カテゴリーの潜在化」と「ジェンダー平等」 = 江原由美子

〈書評〉『伴走型支援——新しい支援と社会のカタチ』 = 菊池馨実

定期購読がお得です!

毎月

28

日発売!!

定期購読 のご案内

法学教室

定額制

1年間12冊, 2年間24冊を
定額で購読できます。

1年間毎号購入した場合

1万8828円 (定価1569円)

購読期間

定期購読料金

割引率

1年定期《12冊》

1万4100円

25%

2年間毎号購入した場合

3万7656円 (定価1569円)

購読期間

定期購読料金

割引率

2年定期《24冊》

2万7500円

27%

定期購読料には送料・消費税(10%)が含まれています。

詳細は小社ウェブサイト「法学教室—定期購読のご案内」をご覧ください。

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

使える
雑誌

定期購読のご案内

法律実務のパートナー

月刊 ジュリスト

毎月 25 日発売

定価1,569円

Monthly | Jurist

ジュリストの特色

- 「ビジネスロー」を中心とした特集と判例記事を中心に、日常業務に直接的に生かせる法律情報誌。
- 無理なく読みこなせる工夫を随所に施し、日常で実際に学べる・使える情報をお届けします。
- 各年度の重要判例を精選し、解説・総覧する「重要判例解説」を、臨時増刊号として年1回刊行。

期 間	料 金	定価より
1年定期 13冊	17,000円	23% OFF

期 間	料 金	定価より
2年定期 26冊	32,300円	27% OFF

(臨時増刊「重要判例解説」含む)

定期購読料には送料・消費税(10%)が含まれています。

詳細は小社ウェブサイト <http://www.yuhikaku.co.jp/> 「ジュリスト—定期購読のご案内」をご覧ください。

定期購読がお得です!

2022.
3 Mar.
NO.498

学習が進む，理解が深まる。法学がもっと面白くなる。

法学教室 HOGAKU KYOSHITSU

2月28日発売
B5判
定価1,569円
(本体1,426円)

【特集】「法主体」を考える
人についての2層の議論——本特集へのご案内●小島慎司

I 人と国籍
憲法学における「法主体」●柳井健一
越境移動の時代における国籍と人間——無国籍者・「難民」の取扱いを中心に●小畑 郁

II 死者
法主体としての死者を考える●飯屋篤子
死んだ著作者の残したものは●長塚真琴

III 団体・法人など
行政事件訴訟において「公益」を実現する法主体——最近の事例を素材として
●西上 治
「法存在」と「法主体」——科学技術社会における刑事責任の分配を手掛かりに
●稲谷龍彦

巻頭言●神作裕之
法学のアントレ●土岐孝宏

未来志向で学ぶ外国法「アフリカ」
●角田進二 [最終回]

〈時の問題〉「『アフガニスタン・イスラム首長国』タリバン政権と政府承認」●酒井啓亙

講座
憲法 教科書のその先へ●曾我部真裕★
行政法教室●渡井理佳子
日本家族法を考える●水野紀子
ケースで探索・会社法●伊藤靖史★
知的好奇心を刺激する民事訴訟法
●林 圭介★ ★は「最終回」
刑法総論の基礎にあるもの●安田拓人

演習
憲法●佐々木くみ／行政法●戸部真澄
民法●川地宏行／商法●松中 学
民訴法●安西明子／刑法●嘉門 優
刑訴法●吉開多一

〈判例セレクト〉憲・行・商・刑・刑訴／計5件

〈REPORT〉「第20回インターカレッジ・ネゴ・コンペ」●森下哲朗

ジュリスト

No.1568 3月号
定価1,569円
(本体1,426円)

発売
2月25日
B5判

特集・コンプライアンスの最前線

〔座談会〕変化の時代のコンプライアンス
……野村修也・國廣 正・佐々木清隆・松木和道
近時のコンプライアンス関連法制の改正及びその実務運用への影響——公益通報者保護法改正，日本版司法取引の導入，課徴金制度改正を題材に……山内洋嗣

不祥事に向き合う企業姿勢
——ガバナンスと内部統制の視点
……山口利昭
AIを活用するデジタルフォレンジックとセキュリティ対応……櫻庭信之
労働法コンプライアンスの現状と課題……池田 悠

〈新連載〉
新技術と法の未来「仮想空間ビジネス」
……小塚莊一郎・石井夏生利・上野達弘・中崎 尚・茂木信二

新・改正会社法セミナー⑫
「社外取締役（業務執行）(1)」
……藤田友敬・澤口 実・三瓶裕喜・田中 亙・長谷川顕史・松井智子

〈連載〉
実践 知財法務⑤「映画の著作物」
……内藤 篤・伊藤真愛